

## 仲間の有難さ実感する年に

平成二十九年元旦

理事長 平山 良一



り、一般の組合員の方からも参画できる方は、是非お願いをいたします。少し先の話になります。二〇一九年から三年連続で国際的なイベントが日本で開催されます。

十九年はラグビーワールドカップ、二〇年はオリンピック・パラリンピック、二十一年は関西ワールドマスタースゲームズ二〇二一と決定しており、多くの外国人観光客や選手が来日し、内需も活性化することが予想されます。

我々の扱う製品はまさにこうした内需の活性化で使用されるものです。こうした需要は今年から始まるものと思われまます。是非このビジネスチャンスをつかもうではありませんか。そして組合員のすべてが「組合に入っていて本当に良かった」と言っていただけの組合づくりを目指してまいります。

今年も皆様のご健勝で、ご商売が隆盛になりますことを祈念しまして、一年のスタートのご挨拶を申し上げます。

これは六年前の東日本大震災の際の東北協組も同じでした。又、我々を取り巻く経済環境は厳しさを増すばかりです。

この不安な時代を乗り越えるために組合は存在します。組合が各企業の売上

を上げたり、コストを下げたりすることはできませんが、助け合って知恵を出したり、勉強したり、励ましながら、励まされたいです。「仲間がいて本当に良かった」と感じる時が必ずあります。

そのためにも、今年も組合の活動にご理解とご意見を頂き、参加をしていただきたくお願いいたします。現在組合員は会友を含め、五十七社が集っています。協同組合は、一社ではないことを、数の力でというまさに『相互扶助の精

新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって、より良い年になりますように期待しましょう。

さて昨年は、全日シールの全国大会が沖縄で開催されましたが、その際に主催の九州協組が熊本地震のとき全国の仲間の支援に対し深く謝意を述べておられました。そして「組合に入っていて本当に良かった」と皆が思っているというお話をしていました。

神』が原点です。組合はここ最近、厳しい財政状況が続いています。昨年は二十年ぶりの賦課金値上げも、組合員のご理解によつて了承頂き、何とかその基盤を保つことができました。

会社と同じで組合も財政基盤が盤石でなければ、健全な組合運営ができません。その財政基盤を一応確保することができましたので、今年さらにもっと組合事業に取り組みたいと思っております。

今年には組合の役員改選の年ですが、組合も組織である以上は人事の停滞は許されません。特に今年は大幅な人事の刷新が出来ればと思っております。

特に役員の若返りは待ったなしの課題となっております。

専務理事 本間敏道



明けましておめでとう  
ございます。

昨年は組合創立五十周年という佳節を迎えることができ、改めて組合員・会友、協賛会の皆様方に熱く御礼を申し上げます。

また、七月よりは二十年ぶりの組合費の改訂も行い組合員の方々のご理解を頂き、組合財政基盤の再構築を図ったところでございます。

さて、組合を取り巻く環境は残念ながら一層厳しさを増してきており、組合員・会友の悲鳴にも近い声が組合にも届いております。こうした中、平山体制も二期目を迎え、これまでの事務局主導の組合運営から本来の組合員主導の組合運営にと、様々な改革に取組んでまいりましたが、残念

ながら未だ道半ばというところでは、

昨年もまた熊本大地震が発生し、九州のシール印刷業者にも大きな被害が出ましたが、当組合では五年前に東日本大震災の際に北海道と九州の組合との間で「緊急時相互委託生産協定」を結んでおり、この試みが間違っていないかつたことが証明されました。

東日本大震災や今回の熊本地震の際にも、「組合に入っている本場に良かった」という声が、あちこちで聞かれました。

もちろん何も無いことが一番ではありますが、何かあった時には、やはり仲間がいるということが、どれだけ心強いかということが今回証明されたのではないのでしょうか。

五十周年を機に、カウントをゼロに戻し、「一社ではできないことを、数の力で」という協同組合の基本精神に立ち返り、すべての組合員・会友の方々が「組合に入っている本場に良かった」と言ってもらえるように、今年も頑張ります。

東京都中小企業団体  
中央会会長 大村功作



明けましておめでとう  
ございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

併せて、日頃の本会への格別なるご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。

昨年のわが国経済は、地震や台風など自然災害の多発、英国の「Brexit」離脱表明、米国のトランプ氏の大統領当選など、予期せぬ出来事が相次ぎました。中小企業・小規模事業者は、厳しい経営を強いられ、景気回復に対する実感を得られませんでした。

こうした状況下で中小企業・小規模事業者を支援するため要望していただきました「ものづくり・商業・サ

ービス開発支援補助金」の存続につきましては、昨秋の補正予算で実現することになりました。7月施行の「中小企業等経営強化法」と併せて今後の経営力向上のため、稼ぐ力をつけていくことが期待されます。

さらに本会では、「外形標準課税の中小法人への対象拡大反対」「特定最低賃金の廃止及び地域別最低賃金引き上げに対する慎重な対応」等を要望しました。中小企業関係税制につきましては、要望通り実現しましたが、今後引き続き、経営者の負担増にならないように国に対し強く訴えてまいります。

一方、東京都に対しては、「中小企業組合支援策の拡充・強化」「中小企業競争力強化支援事業助成金の拡充」「中小企業の人材確保・育成策の拡充・強化」を重点に6項目要望し、その実現化を目指していきたいと思っています。

昨年夏に開催されたりオデジャネイロ・オリンピックにおける日本選手団の大活躍には勇気と感動を与

えられました。特に男子陸上400メートルリレーで、100メートル9秒台が1人もいないチームが、バトンパスのチームワークで初の銀メダルを獲得しました。

個々の力では及ばずとも連携の力でそれをカバーすることは、中小企業・小規模事業者による連携組織の効果を標榜する私達にとって、大きな教訓となりました。

そして、今回は、2020年東京オリンピック・パラリンピックです。この機会に中小企業・小規模事業者がビジネスチャンスを得て、事業拡大に繋がるよう「中小企業世界発信プロジェクト2020」を積極的に推進し、経済効果が全国に波及するようオール中央会で取り組む所存です。

さて、今年の干支は酉（とり）です。また、60

年ぶりの「丁酉」です。「丁

は、「安定」という意味や「草木の形が充実した状態」を指し、「酉」は「取り込む」という意味で「運氣もお客

様も取り込む」とか「果実が極限まで熟した状態」と言われており、仕事や挑戦したことへの結果や果実を勝ち取れることを大いに期待しています。

本会は、今年も引きつづき組合巡回・相談業務、さらに各種事業の効果的な実施に努め、皆様のお役に立てるよう全力で取り組んでまいりますので、何とぞよろしく願います。

結びに、平成二十九年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを心から祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

### 協賛会長 大内 昭彦



申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと実に激動の一年でした。英国のEU離脱選択、米国におけるトランプ次期大統領の出現と環太平洋経済連携協定（TPP）の先行き不安、混乱する中東情勢など世界規模で不確実な時代に入ったと感じます。

また、国内では熊本地震や台風などの自然災害が相次ぎ、築地市場の豊洲移転問題なども含め、極めて慌ただしい一年だったように感じます。

このような状況の中、今年は反グローバル化、保守化の動きが強まる可能性が指摘されています。輸出主導で成長してきた日本経済もそこからの脱却を図らなくてはならない時期に来ているのかもしれないと感ずります。

しかし一方、「メイド・イン・ジャパン」は、その安定した品質と信頼性の高さから、世界中で認められた一大ブランドです。そのブランド力を最大限に活用し、不確実かつ不透明な時代の中で生き抜いていかななくてはならないと考えています。

シール・ラベル業界も同様です。

世界市場を広くカバーする強大な企業グループや、各国・各地域の市場に根ざした現地企業との競合の中、各社が自社の強みを前面に打ち出し、顧客ニーズをつかむ努力を日々行っていくことが、当たり前ですが重要なことではないでしょうか。

混沌とした時代には、ピンチだけではなくチャンスも生まれるはずですが、業界関連各社におかれましても、製造力や開発力、提案力を武器に新たなビジネスチャンスをつかんでいただけたらと願っております。そのためにも、自社だけではなく協賛会各社からの情報も活用していただきたいと思えます。

各社が連携を図り、情報共有とさらなる技術力向上に取り組むことで、業界全体を盛り上げていきたいと考えております。

最後になりますが、今年一年が皆様にとって、より良い年になることを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 今年最後の支部会(忘年会)を開催

### 刃型業者二社招いて勉強会を

今年最後の合同支部会が十二月五日(月)午後四時半より、台東区上野公園の「グリーンパーク」に於いて開催されました。

今回は「刃型について困りのことはありませんか」をテーマに、エルテックと塚谷刃物製作所の二社を招いて、勉強会を開催しました。



などを細かく説明しました。

続いて塚谷刃物製作所も同社の主力商品である『フレキシブルピナクルダ』について説明し、サンプルなどを使って、いかにシャープな切れ味を出せるかを披露しました。

この後質疑応答があり、引き続き恒例の忘年会が行われ、ビンゴゲーム大会ではいつもながらの盛り上がりでした。



講演する塚谷刃物(左)とエルテック

## 第107回ラベル会 常陽カントリー倶楽部

### 大番狂わせ！本間専務理事が初優勝



第一〇七回ラベル会は、十二月十四日(水)に、茨城県常陽カントリー倶楽部に於いて組合員五名、協賛会六名の計十一名、三組で開催されました。

当日は夜半からの大雨の影響で開催が危ぶまれましたが、スタート時点では雨も小降りになり、午後からは晴れるなど、プレーに大きな影響はなく、楽しくゴルフが出来ました。

HD 十三、八九

■優勝・本間敏道(組合専務理事)四九、五五、HD 三六、

六八 ■二位・恩田博(恩田製作所)四五、四一、HD 一〇、

七六 ■三位平山良一(日本ラベル)四八、四九、HD 二〇、

七七 ■BB賞・清宮和夫(清宮企画)五四、四八。

## 全日シール連合会 応募全作品を網羅 第二十六回ラベルコンテスト作品集を

六作品、「審査員特別賞」

下さい。

全日本シール印刷協同組合連合会では「第二十六回シールラベルコンテスト応募全作品集」(A四クリアファイルに応募全作品の実物を貼付・印刷データシート付)が完成し頒布を開始致しました(六〇冊限定頒布)。

この他コンテストの総評・

同作品集は、今年の第二十六回シールラベルコンテストに応募された全作品を網羅して、作品製作に際しての使用の印刷機械メーカー・使用インキ・使用原紙材料銘柄などの他、作品の用途・機能・製作秘話などが記載されています。

下技術委員長談)

また、前回の第二十五回シールラベルコンテストの応募作品の中から、第二十七回世界ラベルコンテストの二十二カテゴリーに対しJFLPより選んでエントリートした作品の中から、二〇一六年二月十二日発表の第二十七回世界ラベルコンテスト「最優秀賞」作品

価格が一部二万四千元

また、前回の第二十五回シールラベルコンテストの応募作品の中から、第二十七回世界ラベルコンテストの二十二カテゴリーに対しJFLPより選んでエントリートした作品の中から、二〇一六年二月十二日発表の第二十七回世界ラベルコンテスト「最優秀賞」作品

望の方は、別紙申込書にてお早目にお申し込み下さい。

また、バックナンバーの作品集も在庫がある分は別途特別価格にて頒布致します。こちらをご購入ご希望の方は、在庫確認のため全

日本シール印刷協同組合連

日本シール印刷協同組合事務局へお問い合わせ下さい。

## 第59回年次大会は東京で開催 第60回は東京ビックサイトで 運営は連合会直営に変更

全日本シール印刷協同組合連合会は、昨年十一月四日に、沖縄のロワジュールホテルに於いて、三役会・委員長・常務理事会を開催し、「第五十九回年次大会東京大会」を、今年の十月十三日(金)に、東京西新宿の「京王プラザホテル」に於いて、東京都正札シール印刷協同組合の担当で、開催することが決定しました。

また、「第六〇回年次大会」開催については、来年開催される「IGAS二〇一八」事務局より、開催期間中の年次大会開催のオフアールがあつたことから、同展期間中の来年七月二十八日(金)に、東京・有明の東京ビックサイト東展示棟での開催も決定しました。

式典・懇親会は展示棟の地下ホールで開催し、会議棟でセミナー(できれば二セミナー)を開催したいとしており、シール・ラベルコンテストの展示についても、今後展示スペースを確保していくことになりました。

これまで年次大会は各協組が担当協組として開催していましたが、地方の協組にとっては負担が大きすぎるとの意見が以前からあつたため、今後は連合会による直営方式に変更されることとなりました。

今回が式典、懇親会、講演会(講師は未定)、シールラベルコンテストの作品展示が予定されており、エクシジョン、ゴルフは実施しない予定。

ただ、連合会直営といっても、連合会に事務局一人しかいないため、実質的には在京の三協組の協力が不可欠であるため、早急に準備委員会を立ち上げていく

グラフィテック株式会社（本社・神奈川県横浜市）代表取締役社長 佐々木秀吉）は、長年に亘り好評だったフラットベッドカッターシリーズの後継機種として、「FCX2000シリーズ」を昨年十二月七日より発売を開始いたしました。

この度発売した「FCX2000シリーズ」は、様々な素材の加工に対応し、製造業における工業材料の試作加工や、製品の少量生産、また、印刷業のプリントオンデマンドの後加工においても多様化する市場ニーズに対応し、少量多品種での生産に活用することで、抜型

を使用しない加工装置としてコストダウン、在庫削減、納期短縮を実現するコストパフォーマンスに優れた高性能カッターイングプロッタです。

- ② USBメモリによるオフライン出力機能
- ③ 進化した自動トンボ読み取り機能 ARMS6.0搭載
- ④ プラグインソフト「Cutting Master4」グラフィックデザインソフトウエア「Graphtec Pro Studio」を標準装備
- ⑤ 野引ツールと野引機能の強化

FCX2000シリーズは、本体の剛性強化やペンプロッタの新規設計等により、従来機種よりもカット品質が更に向上しました。また、新たな野引きツールの追加や曲線野引きにも対応し、より高精度に、より表現力の高い加工が可能です。

おもな仕様は次の通り。  
▼方式Ⅱフラットベッド方式 ▼駆動方式Ⅱデジタルサーボ ▼用紙固定方式Ⅱバキューム吸着 (20mmピッチタイプ盤面) ▼カット可能範囲=610 mm×920 mm ▼装着可能なメディア幅=950 mm ▼最大カット速度=400 mm/s(全方向) ▼最大カット圧

フラットベッドカッタープロッタ  
「FCX2000 シリーズ」を新発売

試作、少量生産、オンデマンドの後加工に



「FCX2000」の型名、価格は次の通り。  
「60VC」・一六五万円、  
「120VC」・二〇〇万円、  
「120ES」・二一〇万円、  
「120MG」一七〇万円、  
「180VC」・三〇〇万円(いずれも税別)

カッターイングプロッタ

詳細はホームページ。

「FCX2000」の主な特長

[http://www.graphtec.co.jp/topics/nr16\\_002.html](http://www.graphtec.co.jp/topics/nr16_002.html)

オフライン出力機能

① USBメモリによる

[/topics/nr16\\_002.html](http://www.graphtec.co.jp/topics/nr16_002.html)